

学校だより



良いお年をお迎えください。

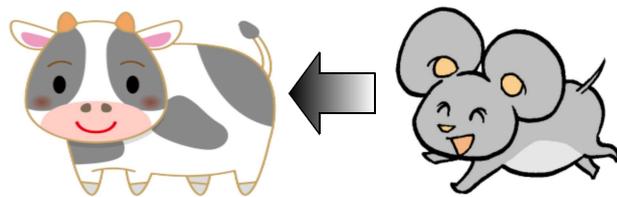
2020年も残り僅かとなりました。この一年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で世界中が大混乱に陥り、多くの尊い命が奪われました。日本でも感染者が増え続け、収束の兆しが見られません。教育現場でも緊急事態宣言による1か月の臨時休校、行事の中止や延期、家庭科・音楽科・体育科を中心とした学習内容の変更など新型コロナウイルスによって大きな影響を受けました。一刻も早いワクチンの接種と治療薬の完成を願うばかりです。

さて、猛暑の中、8月20日(木)から始まった長い2学期が今日で終わりました。延期していた運動会、日帰りで実施した修学旅行、海の学習、山の学習などの行事、日々の学習や生活の中で、子どもたちは着実に成長してきました。子どもたちの努力はもちろんですが、本校の教育活動に対する保護者や地域の皆様のご支援とご協力のおかげだと感謝しています。また、新型コロナウイルス感染症予防対策にもご協力くださりありがとうございました。



いよいよ明日から子どもたちが楽しみにしている「冬休み」が始まります。コロナ禍で例年とは違う年末・年始になるとは思いますが、家族・親類・地域の方々と触れ合う機会がいつもより多くなると思います。子どもたちにとって様々な人との触れ合いは、自己の成長や新たな自分の発見のためのチャンスの場になります。この機会を捉えて、「あいさつ」「言葉遣い」「履物そろえ」に着目して、お子様への声掛けをしていただけたらと思います。また、年末の大掃除や年始の準備等では、子どもたちに役割分担をさせて家族の一員としての自覚と責任をもたせていただきますようよろしくお願いします。そして、新たな年の「目標」をご家族で設定して共有し、2021年をスタートしてください。

令和3年も子どもたちの健やかな成長と安全を第一に考え、鴨方西小学校がさらに充実・発展できるよう職員一同一生懸命努めてまいります。どうぞよろしくお願いします。良いお年をお迎えください。



2021

2020

【大切にしたい言葉】

6年生が国語の授業で、「大切にしたい言葉」の学習をしました。小学校6年間の中で出会った言葉、大切な言葉、自分が今後の「座右の銘」としたい言葉を選び、自分の経験と結びつけて紹介する学習でした。6年生はたくさんの言葉の中から今後の生き方の道標になるような言葉を見つけていました。子どもたちが選んでいた言葉を紹介したいと思います。大人も大切にしたい言葉です。

- ・「ありがとう」を言える人間にないなさい。「ごめんなさい」を言える人間にないなさい。嘘をつくような人間にはならないこと。
- ・中途半端にやると他人の真似になる。とことんやると他人が真似できないものになる。
- ・何かしようと思ったら、そのことだけに夢中にならなくちゃだめだ。
- ・初めに自信がないのは当たり前なこと。積み上げた努力とその成果が自信につながる。

- ・つまずいたっていいじゃないか。人間だもの。
- ・神様は、乗り越えられない試練は与えない。
- ・何とかなる。
- ・負けても終わりではない。やめたら終わりだ。
- ・お前の道を進め。人には勝手なことを言わせておけ。
- ・私たちの最大の弱点は、諦めることにある。成功するのに最も確実な方法は、常にもう一回だけ試してみる
ことだ。
- ・ピッチャーはゲームを作れる。バッターはゲームを決められる。
- ・今を変えなければ、未来は変わらない。
- ・努力すれば報われる？ そうじゃないだろ。報われるまで努力するんだ。
- ・失敗とは、転んだあと立ち上がらないことだ。
- ・なんくるないさ。
- ・たとえ明日、世界が滅亡しようとも、今日私はリンゴの木を植える。
- ・諦めたらそこで試合終了だ。
- ・一番いけないのは、自分がだめだと思い込むこと。
- ・人は守り助けるもの。傷付けない絶対に。
- ・PKを外せるのは、PKを蹴る勇気のある者だけだ。
- ・咲くも無心。散るも無心。花は嘆かず今を生きる。
- ・ミッドウェイでの失態は、すべて私の責任だ。
- ・胸を張って生きろ。己の弱さや不甲斐なさにどれだけ打ちのめされようと心を燃やせ。歯を喰いしぼって前を
向け。君が足を止めてうずくまっても時間の流れは止まってくれない。共に寄り添って悲しんでほくれない。

